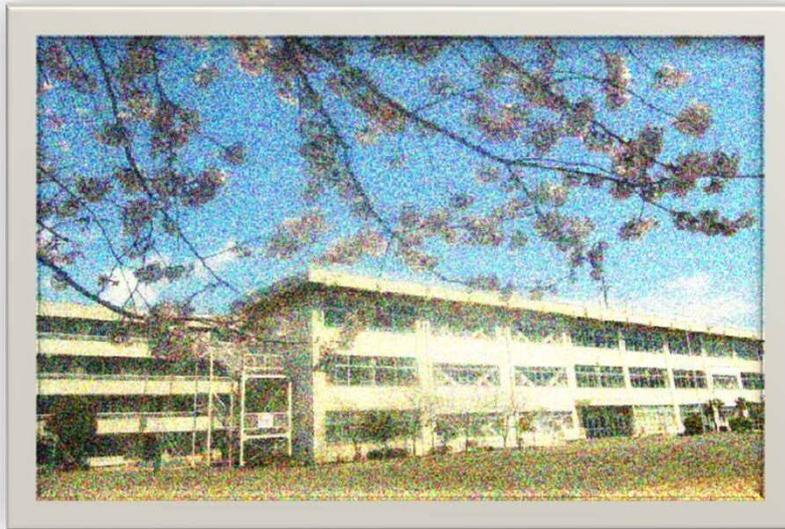


平成26年度

**全国学力・学習状況調査の
結果について**



海老名市立大谷小学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5
(資料) 指導や学習・生活習慣と学力との関係	P. 6

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査（平成23年度は震災の関係で実施を中止）でしたが、昨年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

国語A・算数A（主として「知識」に関する問題）

国語B・算数B（主として「活用」に関する問題）

【中学校】

国語A・数学A（主として「知識」に関する問題）

国語B・数学B（主として「活用」に関する問題）

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成26年4月22日（火）

国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことができる
- 故事成語の意味や使い方を理解することができる
- 新聞の投書を読み、表現の仕方を捉えることができる
- 物語の登場人物の相互関係を捉えることができる
- 語句と語句との係り方や照応の仕方に気付き、文と文とのつながりの明確さを意識して、適切な表現に直して書くことができる

《努力を要する所》

- 国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を理解する

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 質問の意図を捉えることができるとともに、立場を明確にして、質問や意見を述べるができる
- 文章の内容を関係付けながら、分かったことや疑問に思ったことを捉えることができる
- 二つの詩を比べて読み、表現の工夫を捉えることができる

《努力を要する所》

- 分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書く
- 詩の解釈における着眼点の違いを捉えるとともに、二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く

今後の具体的な取組

- 辞書を利用する授業
 - ・辞書のひき方になれ、辞書をひいて、新出語の読みや意味を捉えることができるように指導します。
 - ・表現したり理解したりするために、必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる習慣を付けるようにします。
- 書くことに意欲がもてる授業
 - ・発達段階に応じて、具体的で丁寧な記述の仕方について指導します。
 - ・多様な機会(作文、新聞づくり、観察など)で、書く必要のある場を設定し、書くことに慣れ、書くことに意欲がもてるよう学習場面を工夫します。

算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 商が小数になる除法「(整数)÷(整数)」の計算をすることができる
- 異分母の分数の加法の計算をすることができる
- 体積の単位(1cm³)をもとにして直方体の体積を測定することができる
- 作図に用いられている図形の約束や性質を理解している
- 四則の混合した式の意味について理解している

《努力を要する所》

- 割合が1より大きい場合や割合が1より小さい場合でも、比較量の求め方が(基準量)×(割合)になることを理解する

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 示されたグラフでは、表の中の数量を表すことができない理由を数学的に表現できるとともに、表す目的に応じたグラフを選択することができる
- 十を単位として、数の相対的な大きさを捉え、その関係を表している図を選択することができる
- 示された事象を観察し、繰り返し出現する事象から規則性を読み取ることができる
- 日常の事象を数理的に捉え、示された条件をもとに、図形を構成することができる

《努力を要する所》

- 示された計算のきまりを解釈し、それを基に、異なる数値の場合の計算の工夫を数学的に表現する
- 示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を言葉や式を用いて記述する

今後の具体的な取組

- 思考力を高める授業
比較量の求め方を含め、計算の意味を理解することや計算の仕方を考えることについて、数学的な思考力を高められるよう指導方法を工夫していきます。
- 表現力を高める授業
・計算の工夫等について、示された情報を整理して筋道を立てて考えたり、言葉・数・式・図・表・グラフ等を適切に用いて、自分の考えを分かりやすく説明したりすることで、表現力を高められるよう指導していきます。
・1～6年生の実態に合わせた学習形態の工夫や授業で使わせたい算数的な表現、児童の言葉を生かした授業の展開・まとめ方を研究していきます。

児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 家庭での学習習慣
 - ・家庭で、宿題にしっかりと取り組む児童が多く、宿題以外の学習では授業の予習をする傾向がある
 - ・平日に1日当たり30分以上勉強をする児童が7割以上である
 - ・休日に1時間以上勉強をする児童が6割以上である
 - ・読書好きな児童が多く、高い割合を示している
- 学習に対する関心・意欲・態度
授業で「発表する機会が多く与えられた」、「話し合う活動が多くあった」と思っている児童が多い

《課題と思われる所》

- 教科学力
国語、算数の調査問題の回答時間が足りないと感じた児童の割合が高い
- 学習への関心・意欲・態度
解答を考えたり、書いたりするときに、途中であきらめてしまう児童の割合がやや高い

生活について

《よかった所》

- 自尊感情
「自分にはよいところがある。」「将来の夢や目標をもっている。」と答える自尊感情をもった児童の割合が高い
- 規範意識
学校のきまりや社会のルールを守ろうとする児童が多く、否定的な意識をもつ児童は大変少ない
- 生活習慣
9割以上の児童は毎日朝食を食べ、全く食べないと答えた児童はいない

《課題と思われる所》

- 地域との関わり
地域のことを考えたり、行事に参加したりする児童が少ない傾向がある
- 生活習慣
1日にゲームをする時間は、2時間以上の児童は少ないが、1時間以上の児童の割合が高い

今後の具体的な取組

- 自尊感情をもち、生活において多くの望ましい行動や態度がみられることは、本校児童の大きな特長です。このことは、ご家庭の養育が大きく影響していると考えられますが、学校においても、児童一人ひとりを理解し、励ましと称賛を与えながら、良い体験が積み重ねていけるよう指導・支援に努めます。
- 本校では、現在、算数の授業研究に全校で取り組んでいます。研究では、言語活動を重視し、言葉、文章、図、式で表現することを通して、思考力・表現力を高めていくことを追究しています。今後も、思考を伝え合う楽しさを実感させながら、言語活動の指導をすすめます。
- 児童と地域との関わりについては、これまで以上に学校・家庭・地域の連携を一層深めることが大切です。本校としては、総合的な学習の時間等で、今後も多くの地域の方々のご支援をいただきながら学習をすすめていきます。

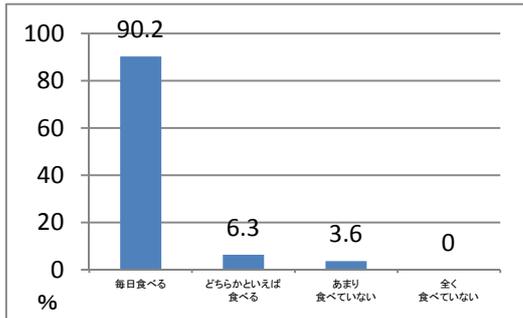
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果より、ご家庭で取り組んでいただきたいことをまとめました。この中には、良い傾向のものもありますが、今後も続けて取組をお願いします。

1 しっかりした生活習慣を身に付けましょう。

「早寝、早起き、朝ごはん」を心がけ、しっかりした生活リズムをつくりましょう

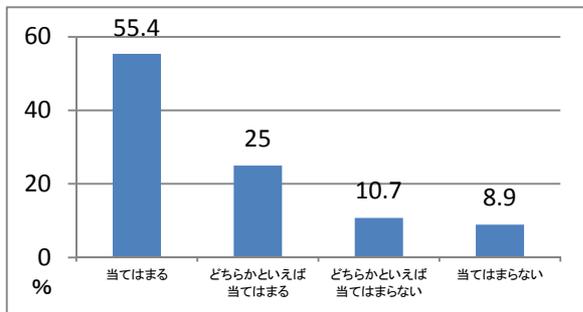
朝食を毎日食べていますか



3 たくさん、いろいろな本を読みましょう。

図書館へ行くなど、多くの本に触れる機会をつくり、家族みんなで本に親しみましょう

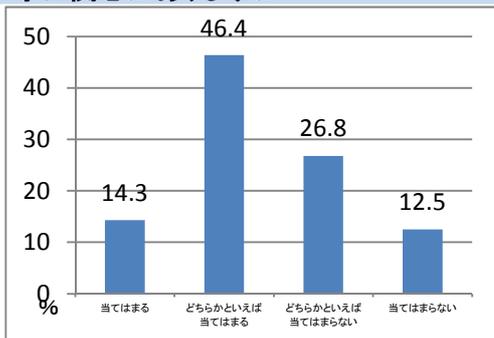
読書は好きですか



5 地域や社会の出来事に関心をもちましょう。

地域の行事には、行くことを勧めたり、家族で足を運んだりして、積極的に参加しましょう

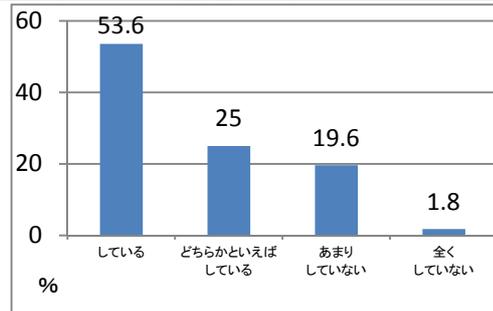
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか



2 コミュニケーションを大切にしましょう。

お子さんとたくさんお話をする時間をつくり、家族の絆を育みましょう

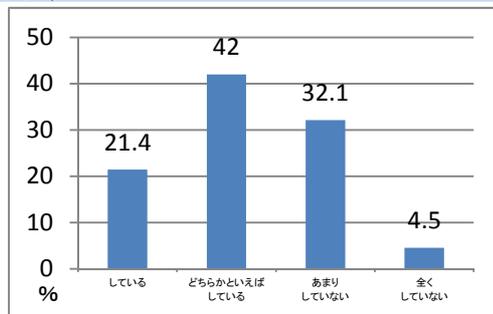
家の人(兄弟姉妹は除く)と学校での出来事について話をしますか



4 家庭学習に取り組みましょう。

毎日、一定の時間【めやす:10分×学年】、宿題や自主的な学習をする習慣を付けましょう

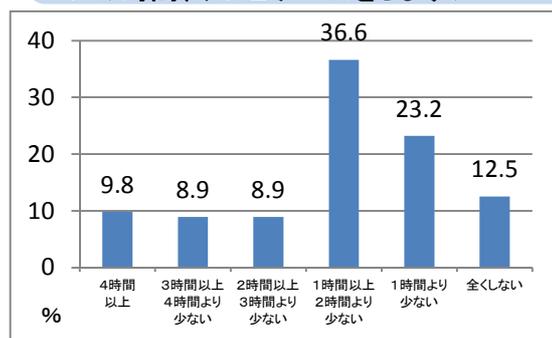
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



6 長時間のテレビやテレビゲームはやめましょう。

テレビを見たり、テレビゲームをしたりするときは、時間とルールを決めましょう

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか



資料

指導や学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ており、今後の指導や家庭・地域への呼びかけに生かして行きたいと考えています。

学校における指導と学力との関係

次のような指導を行った学校ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。
さらに、学習意欲や家庭での学習時間等についても高い傾向にある。
(教科に関する調査、学校質問紙調査より)

【指導方法・学習規律】

- ・ 学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞くなど)の維持徹底
- ・ 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導
- ・ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与える
- ・ 本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導

【国語科・算数科の指導方法】

- ・ 発展的な学習の指導
- ・ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業、書く習慣を付ける授業、様々な文章を読む習慣を付ける授業
- ・ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業

【言語活動】

- ・ 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付ける
- ・ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導
- ・ 発言や活動の時間を確保した授業
- ・ 学級やグループで話し合う活動
- ・ 資料を使って発表ができるよう指導
- ・ 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導

【総合的な学習の時間】

- ・ 総合的な学習の時間における探究活動(課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導)

【家庭学習】

- ・ 調べたり文章を書いたりする宿題を与える

【研修】

- ・ 教職員が、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映

児童の学習・生活習慣と学力との関係

次のような児童ほど、教科の平均正答率が高い傾向にある。
(教科に関する調査、児童質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・ 国語、算数に対する関心・意欲・態度が高い

【家庭学習・読書】

- ・ 学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・ 自分で計画立てて勉強をする
- ・ 学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・ 読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【学校生活】

- ・ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・ 先生は、自分のよいところを認めてくれると思う

【基本的生活習慣】

- ・ 朝食を毎日食べる
- ・ 毎日、同じぐらいの時刻に寝る

【メディアとの関係】

- ・ 携帯電話やスマートフォンで通話・メール・インターネットをする時間が短い
- ・ テレビゲームをしている時間が短い

【家庭でのコミュニケーション等】

- ・ 家の人と学校での出来事について話をする
- ・ 家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【社会に対する興味・関心】

- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある
- ・ 新聞を読んでいる
- ・ テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る

【自尊意識・規範意識】

- ・ ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・ 学校のきまり・規則を守っている
- ・ 人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

「えびなっ子しあわせプラン」ってなあに？

「えびなっ子しあわせプラン」は今年度から平成28年度までの3年間の海老名市の教育プランです。

ひとりひとりの海老名の子どもが、将来、しあわせに生きるために必要な「3つの力」を小・中学校の義務教育9年間で、学校や家庭、地域の教育をとおして、確実に身につけることを目的としています。

◇◆しあわせに生きるために必要な「3つの力」◆◇

学 力

大人になっても学習をつづけるために
基礎的な学力と学習意欲を身につけよう！



.....
教員の授業力を高めます。（授業改善の取組）



.....
小中一貫教育を進めます。（試行校での研究）



.....
市費の教員やボランティアを配置します。

集団力

人間関係を作り、集団の中で自分の役割を果たし、
自分を生かす力を身につけよう！



.....
人間関係作りの学習計画を作成します。



.....
いじめや不登校の問題に積極的に取り組みます。

健康安全力

自分の健康や安全に気をつけて、
いつまでも楽しく生活する力を身につけよう！



.....
体力・運動能力の向上をめざします。



.....
自分の命を守るための学習計画を作成します。

学校と家庭と地域がスクラムを組んで子どもを支えます



みなさまのご理解とご協力をよろしく申し上げます。

海老名市教育委員会



平成26年12月